

眉をあげて



校長室便り 座間市立西中学校
第7(41)号 校長 牧野 淳志
令和4年7月8日発行

全種目優勝～バドミントン部～



バドミントン部は、7月2日(土)3日(日)に個人戦・団体戦に臨みました。女子個人戦はシングルス・ダブルスとも出場者全員が決勝トーナメント進出、シングルスは鋭い攻撃が持ち味の_____さん(1年)が優勝、粘り強いプレーの_____さん(2年)が準優勝。ダブルスは高い攻撃力の_____さん(3年)ペアが優勝、オールラウンダーの_____さん(3年)ペアが準優勝、息の合った連携の_____さん(3年)・_____さん(2年)ペアがベスト4に入り県央大会出場を決めました。

男子シングルスは、高い打点から攻撃の_____君(3年)が優勝。ダブルスは攻撃力が光る_____君(3年)・_____君(2年)ペアが優勝、左からの意表を突く攻撃の_____君(3年)ペアが準優勝を果たし県央大会出場です。女子団体も相模中に圧勝し優勝を勝ち取りました。



バドミントン部男子

2勝1敗で残り2戦に ～サッカー部～



7月2日(土)の2戦目は、南中戦、前半相手に攻め込まれ2点の先制を許す苦しい展開。後半、主将_____君(3年)から_____君(3年)へとパスをつなぎ、_____君(2年)が右からシュートを決め1点差。しかし、その後追いつけず1-3で惜敗。

3日(日)の栗原中戦。前半は膠着した状態が続くも、_____君の先制ゴールから波に乗り、後半は、_____君(3年)_____君(ハットリック達成)らが次々ゴールを決め4-0で快勝しました。守備ではGK守護神_____君(3年)の好セーブ、DF_____君(3年)の安定した守り、SB_____君(3年)_____さん(2年)の献身的なプレーが光りました。ベンチも含め全員で戦う西中らしい試合でした。



バドミントン部(女子ダブルス)

勝負強さが光る ～軟式野球部～



7月2日(土)2戦目は強打の南中戦。先発の_____君(3年)の好投が光るも、南中はさすがの打撃でタイムリーヒットを連発し2点のビハインド。しかし続くピンチを強肩捕手_____君(3年)の好送球で守りきり、4回裏一死三塁から_____君(3年)がヒットエンターを決め1点差、続く_____君がセンターへホームランを放ち同点。6回には一死二三塁から_____君(3年)がタイムリーヒットを放ちついに逆転。6回_____君、7回途中から_____君の投手リレーも決まり4-2で勝利しました。

3日(日)の座間中戦は、主将_____君(3年)や_____君(3年)の長打に小技を絡め、隙なく得点を重ね7-0でコールド勝ち。コチャーやスコアラーなどチームを支える3年生の献身的なバックアップが西中の強さの要因でした。



サッカー部(栗原中戦)



軟式野球部(座間中戦)